

准教授

小澤 肇恵

OZAWA Hatsue

Profile

こども学専攻准教。保健センター主事。
群馬県内公立学校の養護教諭、群馬県教育委員会事務局中部教育事務所学校教育課指導主事、群馬県養護教諭会会長等の歴任を経て、2021年共愛学園前橋国際大学短期大学部に着任。
日本学校教育相談学会会員。公益財団法人日本学校保健会「保健室利用状況調査委員会」委員ほか「群馬県学校における食物アレルギー対応作成委員会」委員を歴任。
2008年文部科学省主催養護教諭中央研修に参加。
2020年群馬県教職員表彰貢献教職員表彰。
次世代を担う子ども・若者の健やかな成長を目指して健康教育の推進に取り組む。



学生へメッセージ

子ども(乳幼児)の健康・安全について、私たちと一緒に学びませんか。健康・安全について学ぶことは、保育の原点である子どもの命を守る、子どもの健やかな育ちを支援することで、保育現場ですぐに役立つ大切なことの一つといえます。

授業では、保健活動の意義や目的、健康の概念、子どもの発育・発達、感染症の予防、事故や病気などに対応するための正しい知識を学びます。また、個別や集団(グループ)での演習を通して、主体的に考えたり、グループ内の意見やアイデアを活かしたりして、課題解決に対応する力や保健的な技術を身につけることも学びます。

今、保育の現場では保育士には、子どもたちの毎日の健康状態の観察・把握、表情や行動等のささいな変化の気づき、病気やけがが発生した際の速やかで適切な対応など、さまざまな心身の不調等に的確に対処することが求められています。更に、保護者や地域のニーズに応じた多様な子育て支援の役割が期待されています。

朝、迎えた子どもたちが、ニコニコと笑顔で帰りまで過ごせるように、大切な命を守り、健康・安全の正しい知識と技術を身につけ、地域や保護者から信頼される保育士を目指して一緒に学修しましょう。保育士となった後には、子どもたちにとってよりよい今、望ましい未来、を創りあげることにつながるような保育が望まれています。

夢に向かって努力するみなさんを応援します。